

平成19年度  
調布市武者小路実篤記念館運営事業団  
事業計画書

<はじめに>

調布市武者小路実篤記念館（以下、実篤記念館）は開館より22年目となり、これまでの展示、資料収集、普及事業、情報提供、調査・研究などの成果を踏まえ、各方面のご協力を得て、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立目的に基づき多彩な事業活動を展開する予定となっております。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団は平成4年1月に設立されてからは、実篤記念館の事業活動全般を受託し、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいております。本年度も引き続き、調布市の委託業務を中心にしつつ、施設管理業務の面についても実篤記念館に協力し、これまでの実績と来館者等の声なども参考にしながら、事業について創意工夫を重ねてより一層効率的な運営を心掛けてまいります。

また、新しい調布市基本計画に基づいた事業では、所蔵作品や資料という貴重な財産を後世に伝えるために、資料の整備・保存の作業を進め、収蔵品データベースの充実をはかり、収蔵品をより活用できるように積極的に取り組んでまいります。

当事業団の運営にあたっては、昨年度より新たな体制となりましたが、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために必要な組織、各方面の協力を得ながら効率的かつ円滑な運営を目指して、引き続き経営改善を図ってまいります。また、昨年度より公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れましたが、本年度も引き続き財務情報の透明化を図り、事業内容や経営状況をわかりやすく公表するように努めてまいります。

<展示事業> 事業活動の中心となる「展示」事業については、これまで同様に関係機関、協力者等との協力をさらに深めながら、年2回の特別展と6回の企画展を開催し、いつでも新しい発見がある展示作りをめざします。特別展では春に「日日は好日」～雑誌『心』に集った人々～を、秋には「写真に見る実

篤とその時代 Part3」～昭和21-51年～を開催いたします。また、企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展示を開催してまいります。さらに今年度は、調布市文化会館たづくりにおいて移動展を開催し、より多くの人に武者小路実篤を知っていただく機会としてまいります。

本年度からは、これまでの来館者アンケートを充実させ、展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れながら、満足度の高い事業を提供すべく取り組んでゆきます。

＜普及事業＞ 「普及」事業では、特別展パンフレット（有料）や子供向け解説シートの編集、展示解説、講演会に加え、少人数を対象とした各種講座を開催し、武者小路実篤を核とした特色ある事業として老若男女、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場、また市民の誇りとなるような事業展開してまいります。

学校教育との連携は、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供、職場体験の受入れなどを引き続き進め、本年度は、平成17年度より始めた実篤ゆかりの詩・作文募集（第2回）の事業をはじめ、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちの文章力や表現力を養うとともに、人とのコミュニケーションを考える場としてまいります。

平成14年度より市民、地域との連携を計る協力ボランティア養成に取り組み、現在、この活動は幅広い普及活動を展開する上で大きな力となっております。本年度は4期生の養成講座を開催し、新たなメンバーを加えるとともに、活動をより充実させるための研修会の開催、組織や環境の整備を進めるなど、ともに地域の教養向上のために積極的に活動を進めてまいります。

本年度より普及事業の運営方法として、事業の充実が望まれる講座については、参加者に講師料など応分の負担をしていただく方法を取り入れ、今後、利用状況やアンケート調査の結果などをもとに、さらに事業運営の検討を進めてまいります。

＜資料の収集・保存事業＞ 「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集し

ておりますが、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしております。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めます。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、収蔵庫の燻蒸作業に協力するとともに、保存・記録作業、作品の修復作業、資料の複製制作を計画的に実施してまいります。

旧実篤邸耐震補強工事においては、工事の記録映像の撮影をはじめ、旧邸内にある資料の状態の把握に努めるとともに、移動作業に協力してまいります。

＜閲覧・情報公開事業＞ 「閲覧」業務については、より多くの方に利用していただくように、開架図書を中心として展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の充実と活用の促進を計り、さらに実篤関連情報に関するレファレンス業務を行います。

「情報公開」事業については、情報化社会の進展に伴い、利用者の要望も飛躍的に高まっており、実篤記念館ホームページをさらに活用し、事業や実篤情報、収蔵品データベースをより広く、新しい情報を公開してゆくために、情報や内容の充実に努めてまいります。また、より多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、館報の編集、各方面への積極的な広報活動を行ってまいります。

＜調査・研究事業＞ 「調査・研究」活動では、特別展関連及び所蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めてまいります。

＜その他事業＞ 友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、ミュージアム・グッズの充実や、友の会主催事業にも取り組んでまいります。このように、記念館を側面から支援している友の会の事務局も引き続き担当してまいります。

平成19年度  
調布市武者小路実篤記念館運営事業団

事業計画書概要

1. 展示事業

(1) 特別展 年2回

- ・春 「日日是好日」～雑誌『心』に集う人々～
- ・秋 「写真に見る実篤とその時代 Part3」～昭和21-51年～

(2) 企画展 年6回

(3) 資料館 展示コーナー 年8回展示替え

※別紙 展覧会日程(案)のとおり

(4) 移動展

- ・(財)調布市文化・コミュニティ振興財団と共催
  - ・テーマ/実篤と『白樺』の仲間たち(仮題)
  - ・会場/調布市文化会館たづくり展示室

(5) 来館者アンケートの実施

- ・展覧会及び館内施設に関する、来館者アンケートを実施し、今後の事業に取り入れてゆく。

2. 普及事業

(1) 講演会、講座等の実施

- ・武者小路実篤やその活動をテーマとした記念講演会を開催。
- ・好評の読書講座、美術講座、自然観察会、朗読会などを開催し、各種アンケート調査結果を参考に、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。
- ・充実が望まれる講座については、参加者が講師料など応分の負担をしていただく運営に変更して実施する。
- ・地域連携事業として、桐朋学園等と協力した事業を開催。

(2) 学校教育との連携

- ・市内在住、在学の子供たちの作文・詩を募集する。
- ・子供向け解説シートの作成と配布
- ・夏休み講座の充実、親子参加事業の開催

「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」などのキッズプログラムの充実

- ・学校図書館への実篤関連資料や情報の提供
- ・職場体験や訪問など、学校事業への協力をする。

(3) 生涯学習活動への対応

- ・文学散歩などのサークル活動、団体利用者に対する展示解説などの普及活動を行う。

(4) ボランティア活動の充実

- ・協力ボランティア（4期生）の養成講座を開講。
- ・協力ボランティアの活動を発展、充実させ、活動してゆくための様々な環境を整備する。
- ・実篤公園の草花の育成、定点観測などの活動を充実させる。
- ・協力ボランティアのステップアップのための研修を開催。

(5) 印刷物の編集

- ・特別展パンフレットの編集

(6) 広報活動

- ・特別展ポスター、チラシ、展示案内の作成、配付
- ・企画展、講座等の開催ミニポスター、チラシの作成、配付
- ・「武者小路実篤記念館報」（年2回）の編集、配付
- ・実篤記念館ホームページの運用と情報の充実事業情報を定期的に更新し、コンテンツや情報の充実をはかる。
- ・調布市市報等への情報提供
- ・報道機関への情報提供と各種取材への対応

(7) 他機関への事業協力等

- ・主として展示、調査研究活動を通して、他機関の事業活動に協力し、実篤、記念館事業の普及に努める。

### 3. 資料収集・保存事業

(1) 資料の収集

- ・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の収集のために情報を集め、調布市へ提案する。

(2) 資料の整理・保存

- ・収蔵された資料を整理し、良好な状態で保存する。
- ・収蔵資料の細かな点検を行い、状態を把握する。

・収蔵品や関連資料の記録撮影、写真パネル等を順次、事業活動に支障がないように整備する。

・美術作品、図書類を中心とした収蔵庫の燻蒸消毒作業に協力。

### (3) 記録映像

・旧実篤邸の耐震補強工事 記録映像

～旧実篤邸の耐震補強工事の様子を映像でその工程を記録撮影し、保存状況を残すとともに、実篤と貴重な建物への理解を深めるために作品化の準備をする。

・映像視聴システム、収蔵品データベースで映像を提供するための整備作業を行う。

### (4) 所蔵作品・資料等の修復、複製制作等

・所蔵品資料の適切な保存管理をはかるため、資料状態の把握に努めるとともに、計画的に修復作業を進める。あわせて、実篤関連の貴重資料の複製を制作し、展示事業に活用する。

### (5) 収蔵品データベースの充実

・実篤記念館が収蔵する作品・資料、実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会、レファレンス業務、収蔵品管理等に活用する。

本年度は引き続き、未整理収蔵資料のデータ化、書誌情報の充実に努める。

## 4. 閲覧、情報公開事業

～資料館・閲覧室における、閲覧・レファレンス業務

～情報提供システムの運用

### (1) 一般閲覧 開架図書

### (2) 特別閲覧 閉架図書・特別資料

### (3) 情報提供システムの運用

17年度に稼働した、文字・画像・映像情報等を収録した情報提供システム（収蔵品データベース、情報提供システム、映像視聴システム、ホームページ）を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、さらにコンテンツの充実、利用の促進を計る。

## 5. 調査・研究事業

### (1) 実篤関連の情報センター

- ・「実篤、白樺、新しき村」の情報センターとしての役割を担うために、特別展、収蔵資料、関連作家を中心に情報の収集に努め、資料の調査、研究活動を進める。

- ・実篤の作品発表に関する情報を集め、記録し、作品リストの充実を図る。

## 6. その他事業

### (1) 友の会

- ・事務局を担当

- ・友の会平成19年度事業予定

- ～会員への関連情報の提供、記念館への支援

- ～会員の交流会（観梅会）の開催

- ～ミュージアム・グッズ販売の充実

### (2) 博物館学芸員実習の受け入れ

- ・公共機関の役割を担う記念館において、博物館施設及び学芸員の役割に対する理解を深めるための機会を提供する。

実施期間：8月（予定）

受け入れ人数：若干名

### (3) 写真貸出・特別撮影への対応

- ・出版及び展覧会等への写真提供に関する貸出作業、資料撮影への対応をする。（有料）

## 7. 施設関係

### (1) 窓口業務、休憩施設の運営

- ・実篤記念館の受付窓口業務

- ・休憩コーナー（給茶設備）の管理運営

### (2) 実篤記念館施設管理への協力

- ・実篤記念館施設の日常管理への協力

### (3) 実篤公園施設の活用

- ・実篤公園の日常管理への協力

### (4) 旧実篤邸の保存

- ・旧邸耐震補強工事への協力

- ・旧実篤邸の現状記録

## <平成19年度 展覧会日程 >

(2007.4～2008.3)

### <武者小路実篤記念館展示室>

◎春季展「自然は不思議」

会期：3月27日（火）～4月22日（日）

◎春の特別展「日日是好日」～雑誌『心』に集う人々～

会期：4月28日（土）～6月3日（日）

◎「愛蔵の工芸品」

会期：6月9日（土）～7月8日（日）

◎夏休み企画「人間萬歳」

会期：7月24日（火）～9月2日（日）

◎秋季展「墨の世界」～愛蔵品と作品から～

会期：9月8日（土）～10月14日（日）

◎秋の特別展「写真に見る実篤とその時代 Part3」～昭和21-51年～

会期：10月27日（土）～12月2日（日）

◎「書簡展」

会期：12月15日（土）～1月20日（日）

◎「埋もれていたもの」～収蔵庫の中の珍品～

会期：1月26日（土）～3月2日（日）

◎春季展「画をかく喜び」～油彩画を中心に～

会期：3月8日（土）～4月13日（日）

### <移動展>

◎テーマ/ 実篤と『白樺』の仲間たち（仮題）

会期：9月29日（土）～10月30日（火）

会場：調布市文化会館たづくり展示室

平成19年度  
調布市武者小路実篤記念館運営事業団予算

[総括表]

(収入)

(千円)

款・項・目	予算額	前年度予算額	増減	説明
(1)補助金	41,477	41,205	272	調布市補助金
(2)委託料	16,525	18,974	-2,449	調布市業務委託料
(3)諸収入	536	391	145	預金利子、講座等参加費、自主事業収入他
(4)繰越金	1	1	0	前年度繰越金
(5)繰入金	0	0	0	特別事業積立金
収入合計	58,539	60,571	-2,032	

(支出)

(千円)

款・項・目	予算額	前年度予算額	増減	説明
(1)管理費	41,477	41,205	272	事務局運営費
(2)事業費	17,011	19,315	-2,304	受託事業費・自主事業費
(3)予備費	51	51	0	
支出合計	58,539	60,571	-2,032	